

映像制作（アニメーション）

1. 目的、動機

昔からアニメを見ることと、絵を描くことが好きで進学のためにも1つ作品を作ってみたかったからです。

2. 使用機器、ソフトウェア

- ① 液晶タブレット(XP ペン Artist12)
- ② CLIP STUDIO PAINT PRO (macOS)(Windows)
- ③ Cap Cut (Android 12)

3. 使用楽曲

米津玄師「KICK BACK」

4. 作業内容

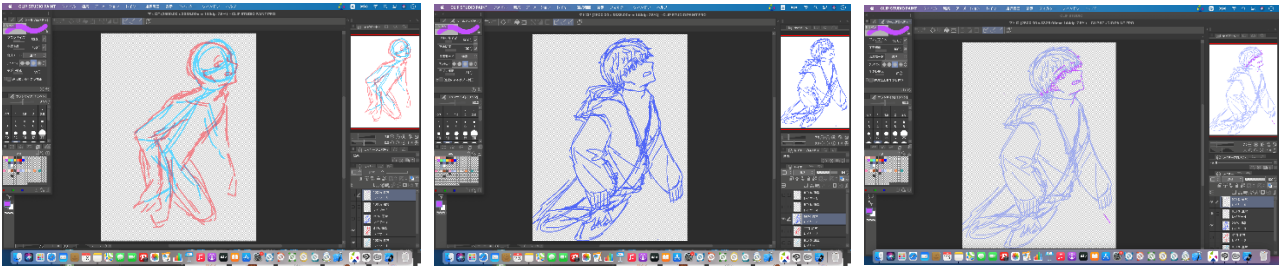
- ① アニメ制作に必要な機器、知識などを調べてどのように制作していくか計画を立てます。
- ② 何の曲を使うのか、どのようなアニメーションにするのか、出すキャラクターのデザインなどを決めていきます。
※この時、どのようなアニメーションにするのかを紙に簡単な絵や言葉で、自分が見てわかるように書き出しておくといいです。(絵コンテ)
- ③ アニメ制作や機械、ソフトになれるために仮作品として1秒ほどの簡単なアニメを作ります。
※例えば瞬きするだけや、顔の向きを変えるなどです。



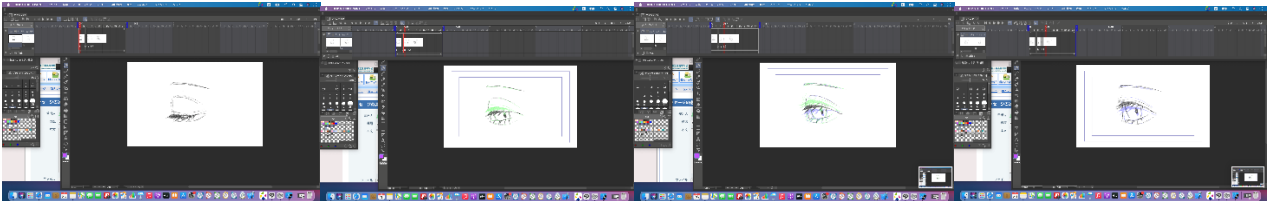
- ④ 本格的に作品制作に入っていきます。
絵コンテを見てイラストやアニメーションを一枚一枚描いていきます。

5. 制作過程

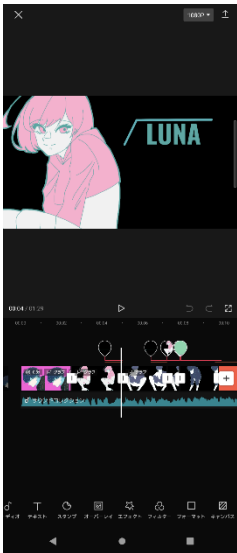
簡単にアタリと呼ばれる下書きをします。そのあと簡単に人体を描き、その上から服や髪の毛を付け足していきます。



アニメーションのほうでは1セルごとにファイルを制作し、その中に下書きや本描きレイヤーを作っていきます。この時にオニオンスキンの有効化をオンにしておくと1セル前と1セル後の絵が透けて見えるので便利でした。



編集はCap Cutで行っています。あまり愛用している人は少ないですが、やり方や技術、応用力があればPCやアライトモーションのようなおしゃれなものを制作することができますし、Tik TokやYou tubeにも使い方動画などがたくさん出ていますのでお勧めです。



6. まとめ、感想

今回初めてアニメーション制作を行いました。進学先がアニメの学科なのでそのことを考えて、一つでも作品を作っておかないといけないということと、アニメーションの大変さを知るために選びました。そもそも私はアナログ専門だったので、慣れないデジタル絵に苦戦しました。しかも、アニメーション自体も初めてだったので、終始苦戦していました。ただ、絵を描くのが好きだったこと、自分が考えたキャラクターが動いていることがとてもうれしくて、苦戦しつつもとても楽しかったです。どうすれば自然に見えるのか、どうしたら作画崩壊しないのか、どうしたらみんなの気を引く作品ができるのか、絵について悩めることがとても楽しかったです。自分の絵のレベルアップの機会でもあったのでとても楽しめました。

7. 今後の課題

ただ、優柔不断なところがでて何度も絵の修正や、絵コンテの修正を何度もしたのでぎりぎりまで作業をしていました。次作るときはイメージをしっかりと固めたいと思いました。

